

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第二種漁港地御前漁港 漁港海岸保全施設整備事業に伴う護岸設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	R4-2	調査位置	広島県廿日市市地御前5丁目地先	北緯	34° 20' 19.4031"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所		調査期間	令和4年 8月25日～ 令和4年 8月29日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア確定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -4.97m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南
総削孔長	21.00m	度	0°	地盤勾配	0°鉛直 90°
試験機	東邦地下工機D-1型		ポンプ	東邦地下工機DG-3B	
エンジン	ヤンマーディーゼルNFD-13K				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	室内試験	削孔月日
											深	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	深				
1			砂質粘土	砂質粘土	暗灰				非常に軟らかく、含水多い。 砂分は細～中砂である。 貝殻片を微量に混入する。		2.00	0	0	0	600	T-1	① 湿潤密度、乾燥密度、開隙比、飽和度、土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
2			粘土質砂	粘土質砂	暗灰 rd1				φ2～4mm程度の角～亜円礫を少量混入する。 砂分は中砂～粗砂である。 粘土分を多く混入する。		2.80	0	0	300	P-1	② 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界			
3	-8.22	3.25	礫混り砂	礫混り砂	暗灰 rd2				GL-6.5mまで礫分を多く混入する。 φ2～4mm程度の角～亜円礫を混入する。 砂分は中砂～粗砂である。 粘土分を所々に少量混入する。		3.25	0	0	300	P-2	③ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界			
4			シルト質砂	シルト質砂	暗灰 rd2				砂は中～細砂である。 φ2～4mm程度の角～亜円礫を混入する。 シルト分を多く混入する。		3.55	1	1	3	300	P-3	④ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
5	-9.97	5.00	砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		4.45	2	2	6	300	P-4	⑤ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
6			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		5.15	2	2	6	300	P-5	⑥ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
7	-11.97	7.00	砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		5.47	3	3	8	300	P-6	⑦ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
8			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		6.15	3	3	8	300	P-7	⑧ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
9			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		6.47	2	2	6	300	P-8	⑨ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
10	-14.97	10.00	砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		7.15	2	2	6	300	P-9	⑩ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
11			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		7.47	1	2	4	300	P-10	⑪ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
12			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		8.15	1	2	4	300	P-11	⑫ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
13			砂質粘土	砂質粘土	暗青灰				砂は中～細砂である。 含水は中位～少ない。		8.47	3	4	10	300	P-12	⑬ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
14	-19.57	14.60	粘土質砂	粘土質砂	暗青灰 rd3				礫はφ2～6mm程度の角～亜円礫を混入する。 最大φ15mm程度の礫を含む。 砂は中砂主体である。 細粒分が多く、試料は一部団粒状である。		9.15	3	4	12	300	P-13	⑭ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
15	-20.97	16.00	粘土質砂	粘土質砂	暗青灰 rd3				礫はφ2～10mm程度の角～亜円礫である。 最大φ15mm程度の礫を含む。 砂は中砂主体である。 細粒分が多く、試料は一部団粒状である。		9.47	3	5	11	300	P-14	⑮ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
16			礫混り砂	礫混り砂	茶灰 rd3				礫はφ2～10mm程度の角～亜円礫である。 最大φ15mm程度の礫を含む。 砂は中砂主体である。 細粒分が多く、試料は一部団粒状である。		10.40	6	8	24	300	P-15	⑯ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
17	-22.77	17.80	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄褐灰				強風化した花崗岩である。 マサ土状であり、未風化礫が微量に含まれる。		11.35	7	8	27	300	P-16	⑰ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
18			風化花崗岩	風化花崗岩	黄褐灰				風化した花崗岩である。 マサ土状であり、未風化礫を含む。 岩組織が残る部分は指圧で崩れる。		11.69	8	9	27	300	P-17	⑱ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
19	-23.97	19.00	風化花崗岩	風化花崗岩	黄褐灰				風化した花崗岩である。 マサ土状であり、未風化礫を含む。 岩組織が残る部分は指圧で崩れる。		12.45	13	18	50	300	P-18	⑲ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界	8/26	
20			風化花崗岩	風化花崗岩	黄褐灰				風化した花崗岩である。 マサ土状であり、未風化礫を含む。 岩組織が残る部分は指圧で崩れる。		12.80	17	19	50	260	P-19	⑳ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界	8/29	
21	-25.97	21.00	風化花崗岩	風化花崗岩	黄褐灰				風化した花崗岩である。 マサ土状であり、未風化礫を含む。 岩組織が残る部分は指圧で崩れる。		13.15	14	31	50	220	P-20	㉑ 土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
22											14.15	1	2	5	300				
23											14.45	1	2	5	300				
24											15.15	3	3	11	300				
25											15.45	3	5	11	300				

